環境経営活動レポート 2018年度

(対象期間 2018年4月1日~2019年3月31日)







2019/8/1発行

2010/0/17813		
承認	作成	
澤井	西村	
社長	管理責任者	

未来へ伝わる・つながるIPネットワークのヒノックス

Telecommunications and Power Electronics 株式会社 ヒノックス

目次

1.	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	(1) 事業所名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	取組の範囲・対象組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(1) 認証・登録番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.	環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4.	環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(1) 基準値設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 (2) 中長期目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
5.	環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
6.	環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7.	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・・・・・・
	(1) 廃棄物排出量の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・・18
	(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・・・・・・18 (2)違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・18
9.	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・19
10.	環境経営情報の開示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19



1. 組織の概要



(1) 事業所名

株式会社 ヒノックス

(2) 所在地

〒193-0835 東京都八王子市千人町2丁目12番5号

(3) 代表者

代表取締役 澤井 功

(4) 管理責任者

環境管理責任者 西村 幸男 (営業課)

(5) 連絡先

TEL:042-665-3991(代表)

FAX: 042-665-2223 URL: http://www.hinox.co.jp/

(6) 事業の概要

電源機器(産業用スイッチング電源)及び情報システム機器(情報伝送装置、モデム及び監視制御装置等)の開発・設計・製造・販売及び付帯サービス



(7) 事業規模

年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上金額	7億8400万円	7億6390万円	7億6360万円
従業員数	40名	42名	42名
床面積	1, 606 m	1, 606 m ²	1, 606m²



2. 取組の範囲・対象組織

(1) 認証・登録番号 (エコアクション21)

0000404

エコアクション21 認証番号0000404

(2) 登録範囲

株式会社ヒノックス

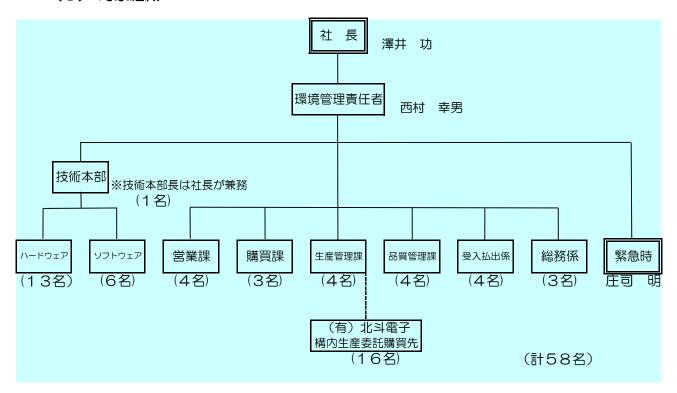
(3) レポートの対象期間

2018年4月1日~2019年3月31日

(4) レポートの発行日

2019年8月1日

(5) 対象組織



氏 名	所属	役割
澤井 功	代表取締役	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
西村 幸男	営業課	環境管理責任者、全体の把握・構築・運用、社長に報告
庄司 明	品質管理課	環境緊急事態対応責任者 (緊急時の窓口)
紺野 陽一郎	受入払出係	特別管理産業廃棄物管理責任者
神戸 祐子	総務係	環境負荷削減責任者、グリーン購入推進



3. 環境経営方針

基本理念

当社は、主に情報通信及びパワーエレクトロニクスの分野における独立したメーカーとして、業界に信頼されることを目指して、環境経営方針を定めて誓約し、全従業員に説明し、掲示し、周知徹底し、継続的に実行維持する。

行動指針

- 1. 事業活動で使用する資源やエネルギー消費量を削減する。
- 2. 事業活動から排出される二酸化炭素の排出量の削減及び廃棄物排出の抑制、再利用、再生利用を推進する。
- 3. 生物の多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な社会の 構築に貢献拡大するために、地球温暖化に係わる事項を 把握して温暖化防止に取組む。
- 4. グリーン購入、環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。
- 5. 環境保全に関連する法規制等の遵守を誓約する。

2018年4月1日 株式会社 ヒノックス 代表取締役 澤井 功





4. 環境経営目標

(1) 基準値設定(2017年度実績)

項目	2017年度基準 総量実績値
廃棄物排出量	4,104(kg)
コピー用紙購入量	562(kg)
梱包材購入量	2,418(kg)
二酸化炭素排出量	96,613(kg-CO2)
使用電力量	196,698(kwh)
ガソリン使用量	1,455(<i>l</i>)
オーバーホール受注台数	157(台)
水使用量	501 (m³)
グリーン購入	購入比率85%以上

(2) 中長期目標

環境目標項目			2018年度		2019年度		2020年度		
廃棄物排出量	kg	前年比	総量 削減量	-1%	4,062 -42	-1%	4,021 -41	-1%	3,981 -40
コピー用紙購入量	kg	前年比	総量 削減量	-1%	556 -6	-1%	550 -6	-1%	545 -5
梱包材購入量	kg	前年比	総量 削減量	-1%	2,394 -24	-1%	2,370 -24	-1%	2,346 -24
二酸化炭素排出量	kg-CO2	前年比	総量 削減量	-1%	95,647 -966	-1%	94,690 -957	-1%	93,743 -947
使用電力量	Kwh	前年比	総量 削減量	-1%	194,731 -1,967	-1%	192,784 -1,947	-1%	190,856 -1,928
ガソリン使用量	Q	前年比	総量 削減量	-1%	1,440 -15	-1%	1,426 -14	-1%	1,412 -14
オーバーホール 受注台数	台数	目標値	受注 目標値	同等	157	同等	157	同等	157
水使用量	m³	前年比	総量 削減量	-1%	496 -5	-1%	491 -5	-1%	486 -5
グリーン購入	円	目標値	総額	85%	購入品総額	86%	購入品総額	87%	購入品総額



5. 環境経営計画

項目		2 0 1 8 年度活動内容	
	不燃・可燃ゴミ	①分別、再徹底	日常
	小燃・ り燃コミ	②削減の推進	日常
4 成弃物批山旱水料试	コピー用紙	①両面印刷、両面コピーの推進、ミスコピー防止	日常
1. 廃棄物排出量の削減 		②裏紙の使用、電子化、ペーパーレス化	日常
	梱包材	①梱包材の見直し	日常
	MC210	②梱包材の再使用、再生利用の推進	日常
2. 省エネルギー		①節電の啓発および省エネ(設備の確認)	日常
		②蛍光灯のプルスイッチによる間引き、清掃	日常
	使用電力量	③17]ソの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)、空調の使用	夏冬
		④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用	日常
3. 二酸化炭素排出量の削減		⑤事業活動において使用する設備(未使用時オフ)	日常
		⑥設備の電気使用量確認	日常
	ガソリン使用量	①エコドライブ(急発進、急加速、アイドリングストップ)	日常
	カンソン使用里	②用途に合わせて公共交通機関の優先利用	日常
	オーバーホール	①製品のオーバーホール営業活動	日常
	2) -/ (-/ (-/)	②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用	日常
	水使用量	①蛇口付近に節水の表示(自動水栓)	日常
4. 水使用量の削減		②生活用水以外は洗車など使用を控える	日常
		③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減	日常
		①グリーン購入品の推進	日常
5. グリーン購入の推進	購入量	②購入品目の拡大	日常
		③コスト把握で効果を計る	日常



6. 環境経営目標の実績

環境経営目標項目		基準値	2018年度目標	2018年度		
垛圾性台口 惊块口			一 	2010年度日標	実績	評価
廃棄物排出量	l.c	総量	4,104	4,063	4,504	^
所来初排山里 	kg	削減量	_	-41 (-1%)	+400(+9.7%)	Δ
コピー用紙購入量	kg	総量	562	556	424	0
コピー州拟縛八重	Kg	削減量	ı	-6 (-1%)	-138(-24.6%))
梱包材購入量	ka	総量	2,418	2,394	1,830	0
他已初無八重	kg	削減量	1	-24 (-1%)	-588(-24.3%))
二酸化炭素排出量	k~-CO2	総量	96,613	95,647	98,043	0
1110灰系排出重	kg-CO2	削減量	1	-966 (-1%)	+1,430(+1.5%))
使用電力量	Kwh	総量	196,698	194,731	199,133	0
使用电力重		削減量	_	-1967 (-1%)	+2,435(+1.2%))
ガソリン使用量	Q	総量	1,455	1,440	1,571	Δ
カノゲノ反応重	¥	削減量		-15 (-1%)	+116(+8%)	
オーバーホール	台数	総量	157	157	107	×
2) -/ (-/ (-/ 0	□奴	増減		(同等)	-50	<
水使用量	m³ —	総量	501	496	515	0
小区用里		削減量	_	-5 (-1%)	+14(+2.8%))
グリーン購入	円	G購入額	194,352	購入比率 G購入額	174,522 (95,3%)	0
フリーノ購入		購入品総額	217,675	85%以上 購入品総額	183,059	

* 二酸化炭素の排出係数

東京電力の調整後排出係数 = 基準: 2017年度 0.474(kg-CO2/kWh)

実績: 2018年度 0.474(kg-CO2/kWh)

* グリーン購入の実績 ※グリーン購入比率(%)=グリーン購入額(¥)/購入品総額(¥)

* 評価=○ 目標達成(5%以内) / 評価=△ まずまず(6%~10%)/

評価=×未達成(10%以上)

◎本年度は新たな購買先が増え、受渡しのためのガソリン使用量が増加傾向となりました。 その中で、従業員の増員がありましたが、使用電力量、水使用量などは全社員の協力の成果が現れました。 次年度は未達成の項目はもとより、全ての項目達成に向けて努力してまいります。



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

(1) 廃棄物排出量の削減

評価=○ 目標達成 評価=△ まずまず 評価=× 未達成

◇不燃・可燃ゴミ

- ① 分別の再徹底
- ② 削減の推進

◇特管産廃一時保管場所

◇一般廃棄物一時保管場所





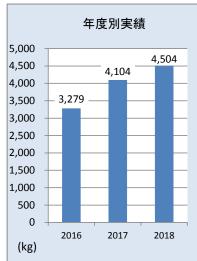


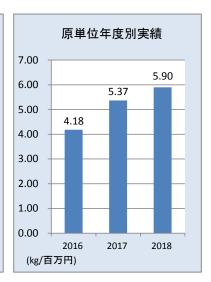
●取組結果とその評価

廃棄物総量基準値	〔4,	104kg)
廃棄物総量目標値	(4,	063kg以下)
廃棄物総量実績値	(4,	504kg)

評価= 【 Δ 】 基準値より9.7% (400 kg) 増加







廃棄物排出量は、基準値より9.7%(400kg)増加となりました。 この要因は、昨年に引続き大型な盤物の受注増加分による購入品の廃棄物と、外注先からの 廃棄物を引き取り廃棄した分で増加しました。

●次年度の取組内容

次年度もゴミ分別の徹底、引き続き購入品の廃棄物排出量削減を推進いたします。



◇コピー用紙購入量

- ①両面印刷、両面コピーの推進
- ②裏紙の使用





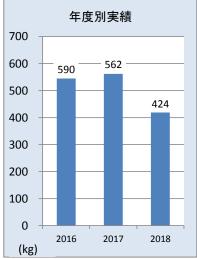


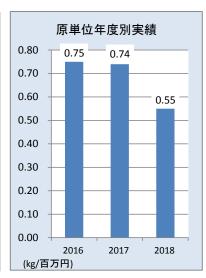
●取組結果とその評価

コピー用紙総量基準値	(562kg)
コピー用紙総量目標値	〔556kg以下〕
コピー用紙総量実績値	(424kg)

<u>評価=【 〇 】 基準値より24.6%(138kg)減少</u>







コピー用紙購入量は、基準値より24.6%(138kg)減少しました。 この要因は、10月以降の生産分による添付資料の減少によりコピー用紙使用量が減少しました。

●次年度の取組内容

前年度同様に文書の電子化、裏紙の使用と両面印刷、両面コピーの取組を推進いたします。



◇梱包材購入量

- ①梱包材の見直し
- ②梱包材の再使用、再生利用の推進



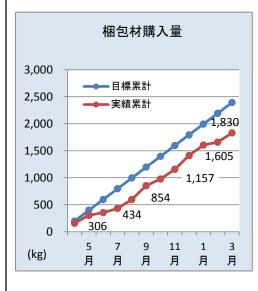


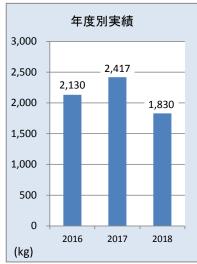


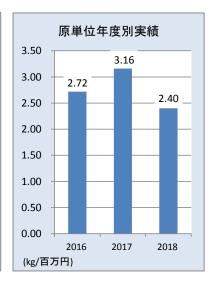
●取組結果とその評価

梱包材総量基準値	(2, 418kg)
梱包材総量目標値	〔2,394kg以下〕
梱包材総量実績値	(1, 830kg)

<u>評価=【 〇 】 基準値より24.3%(588kg)減少</u>







梱包材購入量は基準値より24.3%(588kg)減少しました。 この要因は、大型な盤物の受注が終り通常製品による梱包材の購入量となり減少致しました。

●次年度の取組内容

梱包材の見直しや梱包材の再使用、再生利用を推進いたします。



(2) 省エネルギー

◇使用電力量

- ①節電の啓発
- ②蛍光灯のプルスイッチによる間引き
- ③エアコンの設定 (冷房28℃ 暖房20℃)
- ④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用 ⑤事業活動において使用する設備 (未使用時オフ)
- ⑥設備の使用電力確認







製造設備 (年間使用量)

	<u> </u>
リフロー	16, 443kwh
はんだ槽	1, 649kwh
除湿器	24, 020kwh
コンプレッサー	3, 918kwh

季節設備(年間使用量)

加湿器	6,	647kwh
エアコン	27,	839kwh

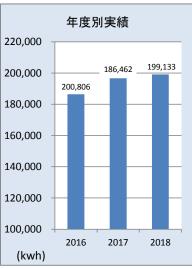
年間使用量合計 80, 516kwh

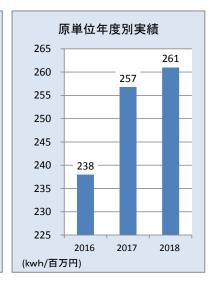
●取組結果とその評価

使用電力総量基準値	(196, 698kwh)
使用電力総量目標値	〔194, 731kwh以下〕
使用電力総量実績値	(199, 133kwh)

基準値より1.2%(2,435kwh) 増加







使用電力量は、基準値より1.2%(2,435kwh)増加しました。 使用電力量の1.2%増は、夏期の猛暑などを考えると全社員の節電の意識、効果が表れた結果 だと考えられます。

●次年度の取組内容

各設備の使用電力量の確認、見直しを行い、無駄な使用エネルギーを削減いたします。



◇ガソリン

①エコドライブ(急発進、急加速、アイドリングストップ) ②用途に合わせて公共交通機関の優先利用

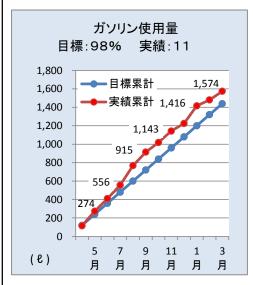


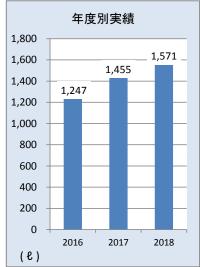


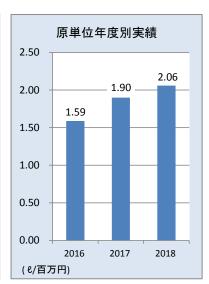
●取組結果とその評価

ガソリン総使用量基準値	(1, 455 <i>l</i>)
ガソリン総使用量目標値	〔1,440ℓ〕以下
ガソリン総使用量実績値	$(1, 571 \ell)$

評価=【 △ 】 基準値より8%(116ℓ)増加







ガソリン使用量は、基準値より8%(116 ℓ :9.7 ℓ /月)増加しました。 この主な要因は、新たな購買先への受渡などが増加したことがこの結果になりました。

●次年度の取組内容

引き続き用途に合わせて公共交通機関の優先利用とエコドライブを推進いたします。



(3) 二酸化炭素排出量の削減





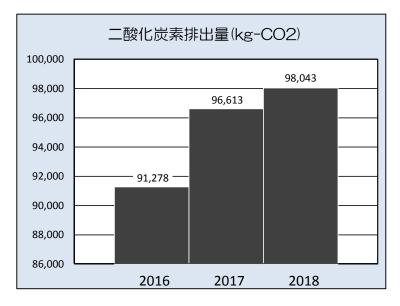


ガソリン(ℓ)				
2016年度	2017年度	2018年度		
1,247	1,455	1,571		

●取組結果とその評価

二酸化炭素排出量基準值	(96,613kg-CO2)
二酸化炭素排出量目標值	(95,647kg-CO2)以下
二酸化炭素排出量実績値	(98,043kg-CO2)

評価=【 〇 】 基準値より1.5%(1,430kg-CO2)増加



二酸化炭素排出量(kg-CO2)				
2016年	2017年	2018年		
91,278	96,613	98,043		



二酸化炭素排出量は、基準値より1.5%(1,430kg-CO2)増加しました。 この要因は、使用電力量の増加は元より、ガソリンの使用量の増加も影響しこのような 結果となりました。

●次年度の取組内容

引き続き必要な使用電力以外は、使用を控え削減いたします。



◇オーバーホール

- ①製品のオーバーホール営業活動
- ②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用





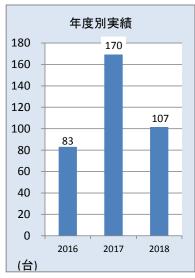
●取組結果とその評価

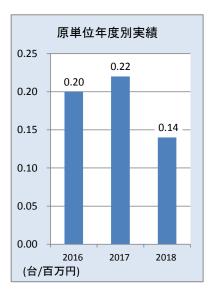
オーバーホール受注台数基準/目標 〔157台〕同等オーバーホール受注台数実績 〔107台〕

<u>評価=【 × 】 基準/目標より(50台)受注減</u>

〇H対応等による受注台数 実績:107台







オーバーホールの受注台数は、基準/目標より50台減少となりました。 2018年度は2017年度に増加したため本年度は減少傾向にあったかと考えられます。

●次年度の取組内容

オーバーホールの受注活動や、経年劣化部品を交換して可能な限り再使用する活動を継続いたします。



(4) 水使用量の削減

◇水使用量

- ①蛇口付近に節水の表示
- ②生活用水以外は洗車など使用を控える
- ③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減

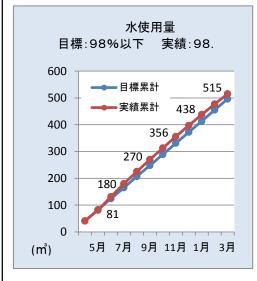


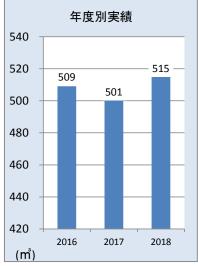


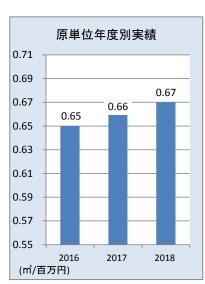
●取組結果とその評価

水総使用量基準値	(501m³)
水総使用量目標值	(496㎡)以下
水総使用量実績値	(515 m)

評価=【 〇 】 基準値より2.8%(14㎡)増加







水使用量は、社員の増員があり多少の増加となりましたが、全社的な節水(トイレ・手洗い・洗車)への協力がこの様な数字となりました。

●次年度の取組内容

必要な生活用水以外、トイレの複数回流しや洗車など使用を控えるように推進いたします。



(5) グリーン購入

◇グリーン購入の推進

- ①グリーン購入品の推進
- ②購入品目の拡大
- ③コスト把握で効果を計る





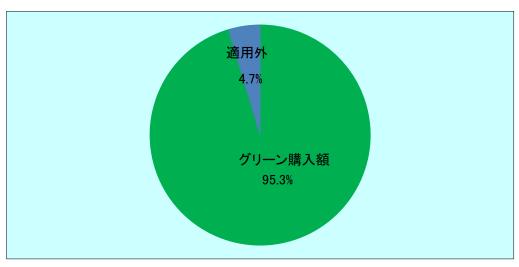
●取組結果とその評価

購入総額 ¥183,059-グリーン購入額 ¥174,522-目標:85%以上

実績:95.3% (購入比率)

評価=【 〇 】 目標値より10.3%購入拡大

くグリーン購入実績>



グリーン購入の推進として、本年度も推進が進みに実績も95.3%となりました。 購入品目のコスト面もしっかり把握することが出来ました。

●次年度の取組内容

グリーン購入品目の拡大と除外品の削減に取組みます。



(6) マテリアルバランス

・インプット

2018年度は、ガソリンの使用量が増加傾向にありました。その中でコピー用紙、梱包材の使用量は減少する結果となりました。

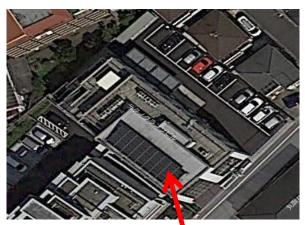
・アウトプット

2018年度の温室効果ガス総排出量は前年度比1.5%の増加となりました。

2018年度のインップット			2018年度のアウトプット		
調達材料 •電子部品 •機構部品	21,428kg 3,269kg	受注 → 設計	• 電子機器製品	23,264kg	
製造調達 ・半田 ・フラックス	142.5kg 28kg	関	廃棄物 ・産業廃棄物(リサイクル) ・金属 ・廃プラ	537kg 759kg	
IPA紙/梱包材	266 € (207kg)	検査 → →	特別管理産業廃棄物 (リサイクル)・廃液	293kg	
コピー用紙梱包材 (段ボール)	424kg 1,830kg	→ 事務 → 梱包	(IPA、フラックス) ・一般廃棄物 ・段ボール ・一般紙	1,829kg 424kg	
エネルギー • 使用電力	199,133kwh	→ ↓ ↓ 出荷	空き缶類その他可燃CO2排出量	71kg 421kg 98t-CO2	
ガソリン水(上下)太陽光発電	1,574 ℓ 515m² 12,907kwh	 ↓ ↓ 運搬	• 排水(生活用水)	515 m	

(7) その他の取組

◇太陽光発電



弊社ビル屋上へ設置の太陽光パネルです。



2018年度の年間太陽光発電積算量は、 12,907kwhとなりました。この数値は 5月度の電気使用量と同等の発電量です。 少量ながらも温室効果ガスの排出量削減と 長期的な発電効果がでてきました。

◇環境情報の掲示





環境方針、環境目標を掲示。 環境目標計測グラフは集計後に貼り換えて掲示。

◇取引先廃棄物会社の視察







特管産廃管理責任者の同行にて産廃処理会社の視察を行いました。

◇地域周辺との環境コミュニケーション活動







近隣の浅川土手沿いのゴミ拾い、美化活動に取組みました。

地域の防災訓練へ参加しました。

◇環境上の緊急事態の訓練





緊急事態に備えて消火器設置場所の確認をしました。

◇生物の多様性の保全(鳥獣の保護)



ツバメが2羽が無事に巣立ちました。



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令•条約等	要求事項	適用施設・物質等	確認日	担当	遵守状況確認	評価
◆保管基準 ・掲示板:60cm角以上 (種類、氏名、連絡先) ・飛散等防止 (飛散、流出、浸透、悪臭)	• 掲示板:60cm角以上		18.07.16	環責	•掲示板 (産廃、特菅、保管場所)	0
			18.07.16	環責	• 飛散等防止 (保管場所)	0
廃棄物処理法	• 衛生管理 (害虫発生防止)	(金属、廃プラスチック)		環責	• 害虫発生防止 (保管場所)	0
◆委託契約 • 産業収集、 特別産廃収		・特別管理産業廃棄物 (IPA<イソプロビルアルコールン鉛半田)	18.07.16	環責	・産廃:委託業者と再契約 ・特管:委託業者と継契約	0
	◆特別管理産業廃棄物管理責任者 の設置		18.07.16	環責	•特別管理産業廃棄物管理責任者(受入払出係)	0
	◆マニュフェスト交付、知事提出、写し保管		18.07.16	環責	• 産業廃棄物管理交付等 状況報告書	0
温対法	◆温室効果がス抑制措置、計画、公表	• 使用電力量	18.07.16	環責	•環境活動ルポートHP公表	0
●国、地方公共団体施策への協力		• ガソリン使用量 18		環責	• 環境省施策に協力	0
グリーン購入法	◆環境物品の購入	• Jピ-用紙(文具等)	18.07.16	環責	・環境物品購入と使用	0
が が が が が が が が が が が が が が	• 製造所、貯蔵所、取扱所以外	・IPA(第4類引火性液体) 指定数量(400ℓ)以下の為	18.07.16	環責	・貯蔵所、作業場所で取扱	0
	◆貯蔵、取扱基準順守 ・危険物政令、危険物試行規則	非該当	18.07.16	環責	• 基準遵守	0
生物多様性基本法	◆生物多様性に及ぼす影響の 低減、維持可能な利用の努力	・太陽光発電、緑化 ・河川などの清掃 ・鳥獣の保護	18.07.16	環責	・環境方針の行動指針に 温暖化防止の取組追加 ・環境活動い。トトトン表	0

(2) 違反、訴訟等の有無

当社が適用する環境関連法規制について、環境マニュアルに規定する「環境関連法規制・条例・その他の規制登録表」により2018年4月1日から2019年3月31日までの状況を確認した結果、関係当局から違反等の指摘は有りませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価

今年度の結果は、売上金額が前年度並みだったのに対して、目標達成項目が増えたので活動の成果は反映されたと判断できる。

内容としては、二酸化炭素排出量と使用電力量が微増しているので、この点ではほぼ前年と変わらなかったという事になるが、近年の猛暑によるエアコンの使用電力増加が影響していると考えられ、この点ではやむを得ないと判断する。

次年度の取組

- 次年度の売上は今年度よりかなり増加する事が予想される。 2019年度の日標値は、1%の引き下げとしたが、現実的には今年度と同

2019年度の目標値は、1%の引き下げとしたが、現実的には今年度と同等になればかなりの活動結果になると考えられる。

本レポートにある各項目の次年度の取組みを、社内に再度徹底し励行する事で、活動結果を出すものとする。

2019年7月22日 株式会社 ヒノックス 代表取締役 澤井 功



平成27年に10年継続 記念の盾を戴きました。

10. 環境情報の開示

2005年度より、当社ホームページで開示。 アドレスは ↓↓

URL: http://www.hinox.co.jp/ecoaction/

または、エコアクション21中央事務局ホームページの環境レポートは ↓↓

URL: http://www.ea21.jp/list/pdfn/0000404.pdf

以上

